

■プロジェクトの目的

本プロジェクトは以下の2点を目的とします。

- ①室蘭工業大学に隣接する高砂5丁目公園内の様々な自然資源を活用し、その季節に応じた遊び場や、普段できないような木工教室・昔遊びの体験などができる「子どもための自由な手作りの遊び場」(プレーパーク)をつくることを目的とします。これにより、公園周辺に住む子どもの屋外・自然の中での遊び・学習体験の場の創出などが期待されます。
- ②本プロジェクトの実施により、学生同士の交流を図るとともに、大学と地域住民の交流の促進による新たなコミュニティの形成を目指します。また、昨年度に引き続いて実施することで、プレーパーク事業の活動の幅を広げるとともに、コミュニティの継続的な発展を目指します。

■活動内容

今年度も計画の通り、計3回のイベントを実施しました。公園内の資源を活用し、夏、秋、冬それぞれの季節に応じたプログラムを提供しました。具体的なプログラム内容としては以下の通りです。

○夏のプレーパーク(6月18日(日)実施)

- ・プログラム：湧き水空間を活用した稲植え体験・かき氷づくり・段ボールそり滑り等
- ・参加者集計：86名



「夏のプレーパーク」の様子



「夏のプレーパーク」周知用ポスター



「夏のプレーパーク」の様子

○秋のプレーパーク (11月12日(日) 実施)

- ・プログラム：焼き芋・クラフト・室工大美術部連携の落ち葉を使ったお絵かき等
- ・参加者集計：115名

11月12日(日) 10時~12時

高砂5丁目公園 秋のお祭り、

焼きいも
落ち葉プール
ダッチオープン
ダンボール遊び
クラフト工作

企画・運営の参加者募集

■参加者 どなたでも ■服装 汚れても良い服装
■持ち物 タオル ぼうし(あれば) 飲み物

工大 10:00 開会宣言
郵便局 10:15 祭り開始
水元小 11:30 焼き芋 遊かいスープ
12:00 閉会宣言

*料理は300円程度かかります

「秋のプレーパーク」周知用ポスター



「秋のプレーパーク」の様子

秋のプレーパーク Takasago Scholme Park

スープ・落ち葉プール 300円
ダンボールそりすべり 100円
クラフト 100円
焼き火料理 100円

受付

現在地

「秋のプレーパーク」プログラムマップ

○冬のプレーパーク (1月21日(日) 実施)

- ・プログラム：ダッチオープン料理・雪の造形遊び・そりすべり等
- ・参加者：48名

1月21日(日) 10時~13時

高砂5丁目公園 冬のお祭り、

ゆきあかり
そりすべり
焚き火&ダッチオープン料理
かまくら作り

企画・運営の参加者募集

■参加者 どなたでも ■服装 暖かい服装
※ソリを持つてくる場合は名前を書いてきてね!
※車で越しの方は工大学生食堂の駐車場にお停めください。この先100mに学生駐車場があります

工大 10:00 開会宣言
郵便局 11:30 暖かい料理 販売開始
水元小 13:00 閉会宣言

*料理は300円程度かかります

「冬のプレーパーク」周知用ポスター



「冬のプレーパーク」の様子

高砂5丁目公園 冬のお祭り

そりすべり 300円
あつたいココア 100円
あつたぽつ 300円
クラフト 100円
焚き火料理 100円

受付

現在地

「冬のプレーパーク」プログラムマップ

毎回、事前に地域住民も参画した企画会議を行い、普段なかなか体験できないことや公園資源の活用すること、各プログラムの配置などに心がけ、活動の目的やプログラムの内容をスタッフで共有しました。

各イベントを通して、イベント開催の度に反省会を実施し改善を行いました。例えば、ダンボールそりなどの激しい運動のプログラムに対してのけがのリスク管理や「消極的な子にはスタッフから声をかけていったほうがいいよね」などの子供の視点からみたプログラムの質の向上につながるような意見が出ました。また、当日参加して下さった親子さんからは、「なかなか子供を安心して遊ばせる場所が無い」という声を聞くことができ、子供の遊び環境の現状への憂いも感じながらも自分たちの活動に対して自信が持てました。

○他主体連携

今年度は例年の活動に加えて、地域住民の交流の促進に向けて「他主体連携」を重視しており、以下の主体との連携を実現しました。

- ・ 室蘭工業大学美術部と連携した「お絵かきプログラム」
- ・ 近隣店舗 Pain de mic でのパンの提供
- ・ 丸田農園での野菜の提供
- ・ 室蘭工業高校との連携した「工作プログラム」

今回、快く連携を受け入れてくれる方達ばかりで、「(本プロジェクトのような)子供のための活動は応援したい」、「なかなか仕事で忙しいからこのような形で携わることができてうれしい」など地域活動に対して興味がある住民も多くいることを知ることができ、今後も本プロジェクトでは、多様な主体との連携を図るとともに、イベントなどの活動の幅を広げたいと思いました。

○地域へ定着

以前から、本プロジェクトでは新聞社に周知協力の依頼や、チラシを作成して、近隣の幼稚園・小学校に配布などを行ってききましたが、「秋のプレーパーク」では、約120名もの親子・地域住民が参加して下さり、本プロジェクトが地域に根付いてきたことを実感しました。また、参加者によると、「知人から聞いて遊びに来た」、「毎回参加している」などの声を聞くことができ、活動の成果と継続の重要性を感じました。



2017.06.19 室蘭民報



2018.01.22 室蘭民報



2018.01.19 室蘭民報

○今後の展望

今後の活動の展望としては、3点挙げられます。

まず、「運営体制の質の向上」だと考えています。今年度の反省点として、昨年度と比較して、イベント自体の内容の目立った発展はあげられませんでした。そのため、普段できない屋外遊びの重視したプログラムや親子で遊びに来る参加者が多いため、大人も楽しめるようなプログラム等を企画し、来年度はよりプレーパークとしてのプログラムの質の向上を目指していけたらと思います。

次に、「地域住民との連携の発展」です。私たちは、高砂5丁目公園を中心にだれもが参画できるようなプラットフォームのような場づくりを目指していきたいと考えています。従って、今年度築いた関係を基盤に地域を巻き込むようなことが活動を進めていきたいと思ひます。

最後に、今年度の活動の成果の基盤となった「活動の継続」です。当プロジェクトの活動も地域に認知されたことも、イベントの運営体制の質の向上も今までの活動の継続の積み重ねがあるからだと考えています。今後も回数を重ねるごとに、地域の方の当プロジェクトに関する興味や関心が高まると考え、また、上記の2点を意識し、活動を継続していきたいと思ひます。

○さいごに

最後に個人の視点から見ると、今年代表者として当プロジェクトを経験し、実際に企画運営することの難しさを学んだり、実際に社会で働いている人との関わることができ、以前よりも広い視野を持つようになりました。また、企画運営を通して、様々な人達とお話する機会があり、その都度、新しいアイデアや関係が生まれるなど、「つながり」の重要性を感じました。学生にとって、当プロジェクトのような地域活動はなかなか参加しづらいように感じるかもしれませんが、自己の成長にもつながるのでぜひ参加してほしいと思ひます。